



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 マブチモーター株式会社
コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

(氏名) 大越 博雄
(氏名) 伊豫田 忠人

TEL 047-710-1127

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	89,628	12.5	12,689	82.1	16,217	37.7	12,835	46.8
25年12月期第3四半期	79,653	24.3	6,970	54.4	11,775	73.7	8,743	109.5

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 15,446百万円 (△27.6%) 25年12月期第3四半期 21,343百万円 (327.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	366.16	366.07
25年12月期第3四半期	249.55	249.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	235,832	218,347	92.6
25年12月期	227,253	208,791	91.9

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 218,293百万円 25年12月期 208,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	53.00	—	87.00	140.00
26年12月期	—	83.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	83.00	166.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 23円00銭
25年12月期期末配当金の内訳 特別配当 37円00銭、記念配当 20円00銭
26年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 53円00銭
26年12月期期末配当金(予想)の内訳 特別配当 53円00銭

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,500	8.4	14,900	59.6	16,500	△1.0	12,400	17.9	353.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) マフチモーターメキシコエスエーデー
ブイ、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	37,875,881 株	25年12月期	37,875,881 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	2,813,338 株	25年12月期	2,825,415 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	35,055,602 株	25年12月期3Q	35,037,246 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注) 1. 25年12月期の自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数95,200株)を含めております。

(注) 2. 26年12月期3Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数82,300株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。

また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)における世界経済は、緩やかな回復基調が持続しました。米国経済は堅調を維持し、欧州経済は低成長ながらも回復が継続しました。我が国経済は、消費税率引き上げに伴う反動減からの回復に力強さを欠き、景気は横ばいで推移しました。新興国経済は、依然として景気回復ペースが鈍く、低成長に留まりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、先進国、新興国ともに堅調な需要が継続しました。一方、家電機器・工具・玩具市場は、市場の在庫調整が継続し減少、精密・事務機器市場は横ばい、音響・映像機器市場は、市場規模の縮小が継続しています。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比0.9%の増加、金額では前年同期比12.6%の増加となりました。また、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間販売計画に対しましては、数量・金額とも概ね計画線上で推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は896億2千8百万円(前年同期比12.5%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は895億9千7百万円(前年同期比12.6%増)となっております。

営業利益につきましては、コスト削減施策の進捗やプロダクトミックスの改善に加え、前年同期比で為替レートが円安に推移したことから、当第3四半期の営業利益は126億8千9百万円(前年同期比82.1%増)となりました。また、前年同期比で為替差益が減少したことで営業外収益が減少したものの、営業利益の増加幅がこれを上回り、経常利益は162億1千7百万円(前年同期比37.7%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は、164億9千万円(前年同期比42.5%増)、四半期純利益は128億3千5百万円(前年同期比46.8%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は572億2千4百万円(前年同期比18.6%増)と大幅に増加しました。中型電装用途であるパワーウィンドウ、パワーシート、パーキングブレーキ用、小型電装用途のミラー、ドアロック、エアコンダンパー用ともに堅調に推移し、円安の影響もあり大幅な増加となりました。

② 家電機器・工具・玩具市場

売上高は156億6千7百万円(前年同期比6.0%増)と増加しました。理美容品、工具用ともに市場在庫調整の影響が続きましたが、円安の影響により増加となりました。

③ 精密・事務機器市場

売上高は107億5千1百万円(前年同期比7.5%増)と増加しました。インクジェットプリンター用が堅調に推移し、円安の影響もあり増加しました。

④ 音響・映像機器市場

売上高は59億5千3百万円(前年同期比9.4%減)と減少しました。カーCDプレーヤー、DVDプレーヤー用が、ともに採算性重視による受注の絞り込みにより減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して85億7千9百万円増加し、2,358億3千2百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加11億7千1百万円、受取手形及び売掛金の増加27億円、たな卸資産の増加12億9千5百万円、投資有価証券の減少6億8千7百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して9億7千6百万円減少し、174億8千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、未払法人税等の減少10億9千1百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して95億5千5百万円増加し、2,183億4千7百万円となりました。為替換算調整勘定で30億8千万円の換算差益が増加し、その他有価証券評価差額金で4億7千万円の評価差額が減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

先進国においては、米国経済は底堅く推移することが見込まれるものの、欧州経済は一部に景気回復ペースが鈍化する傾向が見られます。我が国経済は、消費税率引き上げ後の反動減から回復しつつありますが、そのペースは緩慢と予想されます。新興国経済は地域により方向感が異なるものの、全体としては低成長に留まるものとみられます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場において堅調な需要が継続し、家電機器・工具・玩具市場、音響・映像機器市場の需要減少を補うものと見込まれます。

このような経営環境下、第3四半期までの実績も踏まえ、年間の売上高は、前回公表の予想(平成26年8月5日公表)どおり1,175億円(前年同期比8.4%増)に据え置いており、利益面でも予想の変更はありません。

また、期末の配当予想につきましても前回予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、マブチモーターメキシコエスエーデシーブイを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を早期適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,053	102,224
受取手形及び売掛金	19,453	22,153
有価証券	12,113	12,415
商品及び製品	16,819	17,543
仕掛品	1,262	1,421
原材料及び貯蔵品	6,071	6,483
繰延税金資産	685	965
その他	3,461	3,390
貸倒引当金	△58	△62
流動資産合計	160,862	166,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,831	44,825
減価償却累計額	△24,988	△26,128
建物及び構築物 (純額)	18,842	18,696
機械装置及び運搬具	32,982	36,966
減価償却累計額	△18,020	△20,044
機械装置及び運搬具 (純額)	14,962	16,922
工具、器具及び備品	12,823	13,812
減価償却累計額	△9,807	△10,588
工具、器具及び備品 (純額)	3,015	3,224
土地	6,029	6,029
建設仮勘定	2,163	3,817
有形固定資産合計	45,014	48,690
無形固定資産	794	815
投資その他の資産		
投資有価証券	19,176	18,489
長期貸付金	20	6
繰延税金資産	325	331
その他	1,092	997
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	20,582	19,791
固定資産合計	66,390	69,296
資産合計	227,253	235,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,637	5,619
短期借入金	113	113
未払法人税等	2,241	1,149
賞与引当金	220	619
役員賞与引当金	74	59
繰延税金負債	49	36
その他	6,719	6,423
流動負債合計	15,055	14,021
固定負債		
長期借入金	397	340
退職給付引当金	484	470
資産除去債務	22	22
繰延税金負債	2,193	2,342
その他	308	286
固定負債合計	3,406	3,463
負債合計	18,461	17,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	180,490	187,351
自己株式	△20,084	△20,025
株主資本合計	201,529	208,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,162	1,692
為替換算調整勘定	5,069	8,150
その他の包括利益累計額合計	7,232	9,842
新株予約権	29	54
純資産合計	208,791	218,347
負債純資産合計	227,253	235,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	79,653	89,628
売上原価	59,993	63,418
売上総利益	19,659	26,209
販売費及び一般管理費	12,689	13,520
営業利益	6,970	12,689
営業外収益		
受取利息	376	353
受取配当金	65	102
為替差益	3,556	2,210
スクラップ材料売却収入	811	839
その他	227	241
営業外収益合計	5,037	3,747
営業外費用		
株式関係費	32	28
控除対象外消費税等	91	72
その他	107	117
営業外費用合計	231	219
経常利益	11,775	16,217
特別利益		
固定資産処分益	5	6
投資有価証券売却益	13	342
特別利益合計	19	349
特別損失		
固定資産処分損	219	76
特別損失合計	219	76
税金等調整前四半期純利益	11,576	16,490
法人税等	2,832	3,654
少数株主損益調整前四半期純利益	8,743	12,835
四半期純利益	8,743	12,835

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,743	12,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,992	△470
為替換算調整勘定	10,607	3,080
その他の包括利益合計	12,600	2,610
四半期包括利益	21,343	15,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,343	15,446
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,503	48,682	8,714	14,753	79,653	—	79,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,823	51,183	—	—	103,007	△103,007	—
計	59,326	99,866	8,714	14,753	182,660	△103,007	79,653
セグメント利益	770	5,862	327	419	7,381	△411	6,970

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△411百万円は、セグメント間取引
消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,682	53,860	9,347	17,738	89,628	—	89,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,980	56,197	—	—	116,178	△116,178	—
計	68,662	110,057	9,347	17,738	205,806	△116,178	89,628
セグメント利益	3,847	8,571	233	552	13,205	△515	12,689

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△515百万円は、セグメント間取引
消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。